

黒岩祐治が行く！神奈川の現場

平成25年6月6日

参 考 資 料

(県政・小田原記者クラブ同時送付)

野生鳥獣(イノシシ・シカ)による農業被害対策に取り組む 南足柄市矢倉沢・内山地区の現場訪問の結果について

平成25年6月5日(水)の「黒岩祐治が行く！神奈川の現場」では、南足柄市の矢倉沢地区と内山地区を視察し、地域の住民や県の鳥獣被害防除対策専門員、県農業技術センター足柄地区事務所の普及指導員等の関係者との意見交換を行いました。

農家の方々が大切に育てた農作物をイノシシやシカから守るために、地域が一体となった様々な対策や工夫が行われていました。

【矢倉沢地区広域防護柵の視察】

補助制度を活用して資材を購入し、地域の皆さんが設置した広域防護柵を視察しました。約3.7kmの柵の設置によってイノシシの侵入が減ったそうです。

また、耕作放棄地であった農地にざる菊を植え地域活性化に取り組んでいる話を伺いました。



【内山地区モデル展示ほ場の視察】

電線に強い電気を流すことにより、触れたイノシシに電気ショックを与える電気柵のしくみについて、説明を受け、知事もワイヤーに触れ衝撃を体感しました。

地域の方の話では、実際にイノシシ撃退に効果があったそうで、大変喜んでいました。



【内山地区箱わなの視察】

最近の捕獲状況や知事が実際に作動させ、餌を食べると箱わなの扉が閉まるしくみを確認しました。

また、設置場所、捕獲にあたってのポイント、苦労していることなどについて、説明を受けました。





【内山地区電気柵とセンサーカメラの視察】

夜間に農地に侵入するイノシシなどの動きを把握するため、普及指導員が温度で反応する赤外線センサーカメラを設置している状況について説明を受けました。

大きさの違うイノシシ、シカ、ハクビシンから農作物を守るため、電線は高さを変えて3段張りとなっていました。

【意見交換会】

矢倉沢・内山地区の住民、鳥獣被害防除対策専門員、農業技術センターの普及指導員等を交えて、被害や対策の状況、課題などについて意見交換を行いました。

参加者からは被害情報の一元化と情報共有が大切であるとの意見が出されるとともに、知事からは、この地区の取組みをモデルとして他へ広げていきたい旨の発言がありました。



(問い合わせ先)

神奈川県環境農政局水・緑部自然環境保全課

課長 秋山 電話 045-210-4301

神奈川県県西地域県政総合センター環境部

部長 佐藤 電話 0465-32-8000 内線 2400